

# 通信

携帯電話	108
ハンズフリー通話を使う	108
電話を受ける	108
電話をかける	109
地図に登録された電話番号にかける	110
通話中メニューについて	110
電話を切る	110
メモリアイタルを読み込む	111

はじめに

ナビゲーション  
基本操作

検  
索

ル  
ー  
ト

登  
録  
編  
集  
操  
作

設  
定  
操  
作

各  
種  
情  
報  
操  
作  
VICS

通  
信

そ  
の  
他  
の  
操  
作

付  
録

# 携帯電話

デジタル携帯電話を接続すると、本機の携帯電話機能を使うことができます。

## 携帯電話の機能を使用するには

別売の携帯電話接続ケーブルまたは別売のBluetoothユニットで本機に携帯電話を接続する必要があります。詳しくは「通信接続設定」(→P81)を参照してください。

## 📞 アドバイス

- 携帯電話をお使いになるときは、必ず「通信機器使用上のご注意」(→P81)をよくお読みください。
- 本機は、割込通話および三者通話サービスには対応していませんので、携帯電話側で操作してください。なお、割込通話や三者通話サービスのご利用中に本機を操作すると、通話が切れることがあります。

## ハンズフリー通話でエコー（残響音）が気になるときは

エコーは相手の声が車両スピーカーを通してマイクに入り込むことが原因で発生します。スピーカーからの声がマイクに入らないようにすることでエコーを軽減できます。また、電話回線状況、使用する携帯電話、通話相手の環境によりエコーが発生する場合もあります。

以下のような方法でエコーを軽減できる場合があります。

- 受話音量を小さくする (→「音量を調整する」(P90))
- お互いに一呼吸おいて話す
- ガイド音声出力を助手席側のスピーカーのみに設定する (→「ガイド/ハンズフリー SP 設定」(P189))

ただし、ナビ本体内部のエコーキャンセラーの仕組み上、完全にエコーをなくすことはできません。また、通話相手側が大きな声で話すとさらに聞き取りにくくなります。

## 📞 アドバイス

- 通話中メニューで受話音量を調整することもできます。(→P110)

## ハンズフリー通話を使う

本機に接続された携帯電話で、ハンズフリー通話を行うことができます。

## 📞 アドバイス

- 通話相手の音声聞き取りやすいように、受話音量を調整してください。(→P90)

## 📞 注意

- 安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。やむを得ず走行中に通話をする場合は、周りの安全を十分に確認して通話は手短かに終了するようにしてください。

## 電話を受ける

### 電話がかかってくる

本機と携帯電話を接続しているときは、以下のような電話の着信を案内するメッセージが表示され、着信案内の音が流れます。



## 📞 アドバイス

- 電話が着信すると“トゥルルルル”という音が一度鳴って、着信を知らせます。
- 一部の携帯電話では、着信音がスピーカーから出力されないことがあります。
- 登録地に登録されている電話番号と一致すると、その地点の名称が表示されます。
- メモリダイヤル(→P111)に登録されている電話番号と一致すると、メモリダイヤルで登録された名称が表示されます(登録地とメモリダイヤルの電話番号が同じときは、登録地の名称が表示されます)。

- 1つの電話番号が複数の登録地に登録されている、または該当するデータが本機に登録されていない場合は、かけてきた相手の電話番号が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によっては、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されません。
- Bluetooth使用時で、データ通信とハンズフリー通話が同時に使用できる機種に関して、データ通信中に電話がかかってきた場合には携帯電話側で着信音が鳴り、本機では操作できませんのでご注意ください。

### かかってきた電話に出るには

電話がかかってきたときに**通話**にタッチすると電話がつながり、通話することができます。

### 📞 アドバイス

- 携帯電話のボタンを押して電話に出ることもできます。
- 電話を切るときは、「電話を切る」(→P110)の操作をします。

### 応答保留するには

電話がかかってきたときに**保留**にタッチすると応答保留することができます。応答保留中に**通話**にタッチすると電話がつながり、**切断**にタッチすると電話が切れます。

### 📞 アドバイス

- 携帯電話によっては、応答保留できない場合があります。

## 電話をかける

### 1 **NAVI** を押し、**情報・通信/設定** - **携帯電話** にタッチする

## 2 電話をかける方法にタッチする



<b>メモリダイヤル呼び出し</b>	本機に読み込まれた携帯電話のメモリダイヤルリストを呼び出して電話をかけます。
<b>発信履歴</b>	発信履歴のリストを呼び出して電話をかけます。
<b>着信履歴</b>	着信履歴のリストを呼び出して電話をかけます。
<b>ダイヤル発信</b>	電話番号を入力して電話をかけます。

### 📞 アドバイス

- 携帯電話のメモリダイヤルを本機に読み込んでいない場合は、**メモリダイヤル呼び出し**は表示されません。
- 発信履歴はそれぞれ10件まで自動的に保存され、10件を超えると、日付の古い履歴から順に消去されます。
- 着信履歴で、非通知の相手先に電話をかけることはできません。
- 履歴は任意に消去することができます。→「携帯電話情報を消去する」(P70)

## 3 発信 にタッチする

相手先に電話が発信され、相手と話すことができます。

### 📞 アドバイス

- 携帯電話でダイヤルすることもできます。
- 発信履歴や着信履歴のリスト上から選んだときに表示される**詳細情報**にタッチすると、発信日時や電話番号、名称などの詳細情報が表示されます。
- 発信通話中は、画面左上に電話機のマークまたは通話中メニュー (→P110)が表示されます。

はじめに

ナビゲーション  
基本操作

検索

ルート

登録  
編集  
操作

設定  
操作

各種  
情報  
操作

通  
信

その  
他の  
操作

付  
録

## ■地図に登録された電話番号にかける

検索した施設情報に収録されている電話番号や登録地に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

### 1 場所を探して(→P34) 施設の 詳細情報(→P42)を表示させる

### 2 発信 にタッチする



登録されている電話番号にダイヤルします。

## ■通話中メニューについて

通話中メニューでは、受話音量の調節やBluetoothの通話切り換えを行うことができます。



+	受話音量を上げます。
-	受話音量を下げます。
切 断	電話を切ります。
ハンズフリー ON(OFF)	ハンズフリー機能を ON/OFF します。携帯電話機で通話し (Bluetooth 接続時のみ)

## ▶ アドバイス

- ハンズフリー機能を OFF にすると、携帯電話とのリンクが切断される場合があります。
- 通話中メニューの「戻る」にタッチしてメニューを閉じた場合、画面左上の「ハンズフリー」にタッチすると通話中メニューを再表示することができます。

## ■電話を切る

通話が終了したら「切 断」にタッチして、電話を切ります。

## ▶ アドバイス

- 携帯電話で電話を切ることもできます。

## メモリダイヤルを読み込む

メモリダイヤル機能を使用するには、事前に携帯電話に登録されているメモリダイヤルを本機に読み込んでおいてください。携帯電話から最大1500件のデータを本機に読み込むことができます。

### 📞 アドバイス

- お使いの携帯電話によっては、メモリダイヤル転送に対応していない場合があります。
- 名前、ヨミ、TEL、グループ、メモリ番号のデータを読み込むことができます。
- 読み込んだデータはハードディスクに保存されます。
- メモリダイヤルは、編集することはできません。
- メモリダイヤルの消去方法は、「**携帯電話情報**を消去する」(→P70)を参照してください。
- 1人あたり複数の電話番号を登録できる携帯電話では、電話番号の登録状態や機種によって、全データを読み出せない場合があります。

## 1 **NAVI** を押し、**情報・通信/設定**

— **携帯電話** — **メモリダイヤル**  
— **読み込み** にタッチする



### 📞 アドバイス

- すでにメモリダイヤルのデータが読み込まれている場合は、上書きを確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は**はい**にタッチしてください。
- Bluetooth経由での読み込みで、すでにメモリダイヤルのデータが本機にある場合は、**読み込み**にタッチすると読み込み方法選択画面が表示され、**上書き読み込み**か**追加読み込み**かを選択することができます。

## 2 携帯電話を操作して、メモリダイヤルを転送する



メモリダイヤルが本機に読み込まれます。読み込みが完了するとメモリダイヤルリスト画面に戻り、読み込んだデータをメモリダイヤルとして使用することができますようになります。

### 📞 アドバイス

- Bluetooth経由でメモリダイヤル読み込みを行う際は接続されている携帯電話からメモリダイヤル転送の操作が必要です。
- 携帯電話が「FOMA」の場合は、電話機上で直接暗証番号と認証番号を入力します。
- 携帯電話の事業者によっては、暗証番号を2種類用意している場合があります。一方の暗証番号で転送できないときは、もう一方の暗証番号を入力してください。
- Bluetooth経由での読み込みの場合、メモリダイヤルの転送が終了すると、追加読み込みを行うかどうかのメッセージが表示されます。追加で読み込む場合は、**はい**にタッチしてください。
- 読み込み中に**中止**にタッチすると読み込みは中止しますが、すでに読み込まれたデータは保存されます。
- 保存される情報の種類や文字数、メモリ件数は、携帯電話によって異なります。
- 携帯電話のシークレット機能により登録されたメモリダイヤルも読み込まれます。
- 携帯電話の自局番号もメモリダイヤルと同時に読み込まれる場合があります。

はじめに

ナビゲーション  
基本操作

検索

ルート

登録  
編集操作設定  
操作VICS  
各種情報操作通  
信その  
他の  
操作付  
録



# その他の操作

フロント/コーナーカメラの操作 .....	114
フロント/コーナーカメラの映像 .....	115
コーナーカメラ映像の見かた .....	115
フロント/コーナーカメラを設定する .....	115
カメラインジケータの表示について .....	115
フロント/コーナーカメラの 映像表示設定について .....	116
カメラを設定する .....	116
フロント/コーナーカメラ表示地点の 登録について .....	116
フロント/コーナーカメラの 画質調整について .....	116
リアカメラの操作.....	117
リアカメラの映像 .....	118
後方の映像を映す .....	118
画面の見方について .....	118
画面と実際の路面との誤差 .....	120
リアカメラの画質調整について .....	120
設定内容の初期化とユーザーデータの消去 ...	121
文字の入力操作.....	122
文字の入力操作の流れ .....	122
文字の種類を切り換える .....	122
全角・半角を切り換える .....	122
文字を入力する .....	122
基本操作 .....	122
文字を削除する .....	122
スペースを空ける .....	123
文字を挿入する .....	123
無変換、変換を行う .....	123
漢字表から入力する .....	123
文字入力を終了する .....	123
かな漢字変換できる記号 .....	124

はじめに

ナビゲーション  
基本操作

検  
索

ル  
ー  
ト

登  
録  
編  
集  
操  
作

設  
定  
操  
作

VICS  
各  
種  
情  
報  
操  
作

通  
信

そ  
の  
他  
の  
操  
作

付  
録

# フロント/コーナーカメラの操作

別売のフロントまたはコーナーカメラを装着した場合、低速で走行するとフロントまたは左前コーナーのカメラ映像およびガイド（車両の距離感覚を補う補助マーク）を映すことができます。（ご使用の車に合わせたガイドの表示設定はHonda販売店にて行います。）

- ・タイヤおよびサスペンションを交換するときは、Honda販売店にご相談ください。タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示されるガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。

## 注意

- ・本機（フロント/コーナーカメラ）は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- ・フロント/コーナーカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。必ず目視で確認し、前方および周囲の安全を十分確保してください。
- ・雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- ・乗車人数・積載量により、車両が傾き画面のガイドの示す位置と実際の路面上の距離・障害物との距離は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・以下のような状況では使用しないでください。
  - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・ドアが完全に閉まっていないとき
  - ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- ・ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ・カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因となります。
- ・レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- ・寒いときににお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化をあたえると、フロント/コーナーカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ・カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

- ・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてフロント/コーナーカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ・カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐに拭き取ってください。
- ・カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりフロント/コーナーカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- ・太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- ・太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると下に白帯が出ることがあります。

## アドバイス

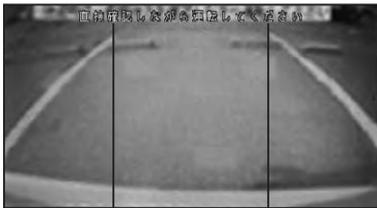
- ・フロント/コーナーカメラは、受像素子に固体撮像素子（CCD素子）を使用しているためカメラに強い光が入ると、光源を中心に縦に白い光の線が出ますが、故障ではありません。
- ・長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- ・50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- ・湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
- ・夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- ・写真は一例です。モニター画面に映る範囲は車種によって異なります。
- ・カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

## フロント/コーナーカメラの映像

フロント/コーナーカメラの機能は、停車時や車速が約15km/h以下になった場合、表示する登録をした地点に近づいた場合などに、自動的に画面をカメラ映像に切り換える機能です。

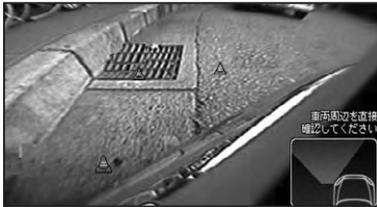
低速時になると常にカメラ映像に切り換わる必要がない場合や、設定した地点だけで表示したい場合、表示操作したとき（ ボタンを押す）だけ表示したい場合など、お好みに合わせて表示設定を行うことができます。

### 表示例：フロントカメラ



前方の映像が表示されます。

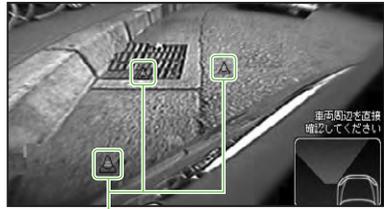
### 表示例：コーナーカメラ



左前の映像が、ガイドとともに表示されます。

車速が低速（約18km/h以下）より速くなった場合に、表示は元の画面に戻ります。

## ■コーナーカメラ映像の見かた



### コーナーガイド

前バンパー左コーナーと路肩の距離の目安を表示します。

### ▶ アドバイス

- 電源をONにした直後にフロント/コーナーカメラボタン操作をした場合、またはカメラ登録地点表示設定がされている場合は、カメラ映像が数秒間表示されません。
- ガイドは、ハンドル操作とは連動しません。
- ご使用の車に合わせたガイドの表示設定は、Honda販売店にご相談ください。
- 画面に表示されるガイドは、車種により異なります。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なる場合があります。
- カメラ映像はあくまで目安です。必ず目視で確認してください。

## フロント/コーナーカメラを設定する

### ■カメラインジケータの表示について

カメラインジケータの表示を **する** に設定しておくこと、カメラ設定の設定状態によって、低速時や、カメラ映像表示登録地点にきた場合に、自動的にカメラ映像に切り換わる状態にあるかどうかを、画面で確認することができます。



### カメラインジケータ

はじめに

ナビゲーション  
基本操作

検索

ルート

登録編集操作

設定操作

各種情報操作  
VICS\*

通信

その他の操作

付録

## ■ フロント/コーナーカメラの映像表示設定について

フロント/コーナーカメラの映像は、以下の設定で映像を自動表示することができます。

- 低速になった場合に常に表示  
設定(自動表示: **する**、登録地点検知: **する** または **しない**)
- 高速時に **⏻** ボタンを押し、低速になった場合のみ表示  
設定(自動表示: **しない**、登録地点検知: **する** または **しない**) ※ただし 1 回限り
- カメラ映像を表示するよう登録した地点に近づき、低速になった場合のみ表示  
設定(自動表示: **しない**、登録地点検知: **する**)

## ■ カメラを設定する

接続したカメラの設定を行います。

### 1 **NAVI** を押し、**情報・通信/設定** - **各種設定(タブ)** - **フロント/コーナーカメラ設定** にタッチする



接続したカメラの設定画面が表示されます。

表示例: コーナーカメラ



#### [カメラインジケータ表示]

<b>する</b>	インジケータを表示します。
<b>しない</b>	インジケータを表示しません。

#### [フロントカメラ自動表示]

<b>する</b>	低速時に自動表示します。
<b>しない</b>	低速時でも自動表示しません。

#### [登録地点検知]

<b>する</b>	登録地点で自動表示します。
<b>しない</b>	登録地点でも自動表示しません。

### **🔊** アドバイス

- 自動表示を **する** に設定しておくとし、一時停止や信号停止などの交通状況、渋滞や峠道などでも低速になるたびにカメラ映像に切り換わります。カメラ映像が必要ない場所では、**しない** に設定し、必要な場合に **⏻** ボタンで映像を表示すると便利です。
- よく使う駐車場や車庫、見通しの悪いT字路などをカメラ表示地点に登録しておき、登録地点検知を **する** に設定しておくとし、駐車や車庫入れ時、市街地の走行時に便利です。

## ■ フロント/コーナーカメラ表示地点の登録について

登録地点検知を **する** に設定した場合に、近づくと自動的にカメラ映像に切り換わる地点を登録するには、「**地点の登録**」(→P64)、「**登録地の編集**」(→P66)を参照してください。

### **🔊** アドバイス

- カメラ表示地点に近づいても、低速になっていない場合は、カメラ映像は表示されません。

## ■ フロント/コーナーカメラの画質調整について

フロント/コーナーカメラの映像は、DVD映像やワンセグ映像と同様に、画質を調整することができます。詳しくは、「**画質を調整する**」(→P192)を参照してください。

# リアカメラの操作

別売のリアカメラを装着した場合、バグギアにシフトすると、本機の画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド（車両の車幅や距離感覚を補う補助マーク）を映すことができます。（ご使用の車に合わせたガイドの表示設定はHonda販売店にて行います。）

- ・タイヤおよびサスペンションを交換するときは、Honda販売店にご相談ください。タイヤおよびサスペンションを交換すると、画面に表示される距離目安マークやガイドの示す位置に誤差が生じることがあります。

## ④ 注意

- ・本機（リアカメラ）は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- ・リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用しながら目視で確認し、後方および周囲の安全を十分確保してください。
- ・雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- ・乗車人数・積載量により、車両が傾き画面のガイドの示す位置と実際の路面上の距離・障害物との距離は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ・以下のような状況では使用しないでください。
  - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
  - ・坂道など平坦でない道
- ・ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ・カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因となります。
- ・レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。
- ・寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化をあたえると、リアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ・カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

- ・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてリアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ・カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ・カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐに拭き取ってください。
- ・カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりリアカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- ・太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- ・バックギアにシフトした瞬間は、一旦白画面になりますが、その後次第に安定します。
- ・太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- ・地図データの更新中はガイドが表示されません。

## ⑤ アドバイス

- ・リアカメラは、受像素子に固体撮像素子（CCD素子）を使用しているためカメラに強い光が入ると、光源を中心に縦に白い光の線が出ますが、故障ではありません。
- ・長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。
- ・50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起きますが故障ではありません。
- ・湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなる場合があります。

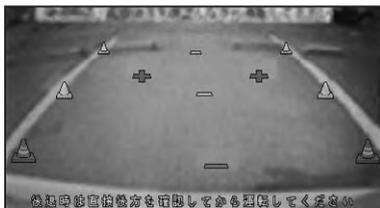
- 本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- 写真は一例です。モニター画面に映る範囲は車種によって異なります。リアカメラの映像は、車体の一部が映し出されるように調整してください。
- カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

## リアカメラの映像

### ■後方の映像を映す

#### 1 シフトレバーをバックギア (R) に入れる

後方の映像が自動で画面に映し出されます。



#### 🔊 アドバイス

- 画面にコーション(注意文)が表示されます。
- **(SOURCE)**を長く押すと、リアカメラ映像の設定画面が表示されます。詳しくは、「**画質を調整する**」(→P192)を参照してください。

#### 2 シフトレバーをバックギア (R) 以外に入れる

通常画面に戻ります。

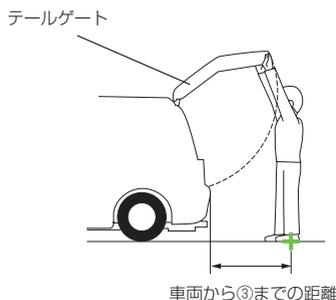
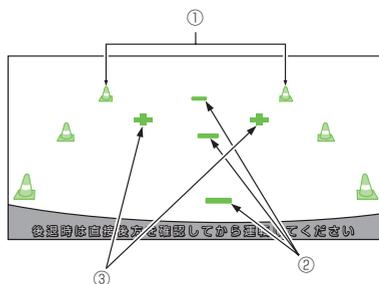
#### 🔊 アドバイス

- 電源をONにした直後(オープニング画面表示中)にシフトレバーをバックギア(R)に入れた場合は数秒間、リアカメラの映像にガイドは表示されません。
- ガイドOFF時は、ガイドは表示されません。初期設定は「ガイドOFF」です。

## ■画面の見方について

### 表示マークの見方

バックギアにシフトすると、モニター画面がリアカメラの映像に切り換わり、車幅や距離感覚を補うガイドが表示されます。



- ①車幅延長マーク(手前より赤色、黄色、緑色)  
車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。  
車の後方(バンパー後端から)の距離を示します。

- ハンドル操作と連動しません。
- それぞれの中心位置で、約 0.5m 先 (赤色)・約 1m 先 (黄色)・約 2m 先 (緑色) を示します。

### ②距離目安マーク

車の後方 (バンパー後端から) の距離を示します。

- ハンドル操作と連動しません。
- それぞれの中心位置で、約 0.5m 先 (赤色)・約 1m 先 (黄色)・約 2m 先 (緑色) を示します。

### ③テールゲート距離目安マーク

テールゲートなどの開閉に必要な距離を示します。

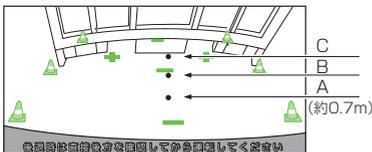
## 🔊 アドバイス

- 画面に表示されるガイドは、車両により異なります。販売店にご確認ください。
- 車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- 車両によりガイドが左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

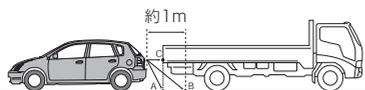
## 距離目安マーク

距離目安マークは路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

### <画面>



### <A,B,Cの位置>



画面では、距離目安マークにより約 1m 先 (B の位置) にトラックが駐車してあるように見えますが、実際には A の位置まで後退すると、ぶつかります。

画面では A、B、C の順に近く見えますが、実際の距離は A と C は同じ距離で、B は A、C より遠い距離にあります。

## 🔊 アドバイス

- 車幅延長マークは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し込まれた場合は実際の距離感とは異なります。
- 次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - ・ 暗いところ。(夜間など)
  - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。(雨天時など)
  - ・ カメラ付近に異物 (泥など) がついたとき。
  - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
  - ・ 高輝度の点 (車体に反射した太陽など) がカメラに映ると、CCD カメラ特有のスミヤ現象\*が発生することがあります。

### <画面の状況>



※スミヤ現象：高輝度の点 (車体に反射した太陽など) がカメラに映るとその点の上下 (縦方向) に尾を引く現象。

高輝度の点

はじめに

ナビゲーション  
基本操作

検索

ルート

登録編集操作

設定操作

各種情報操作  
VICS\*

通信

その他の操作

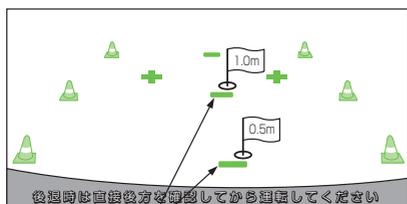
付録

## 画面と実際の路面との誤差

以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。(イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します)

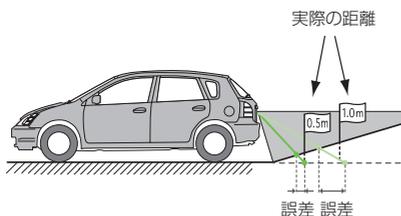
### 急な上り坂が後方にあるとき(例)

#### <画面>



距離目安マーク

#### <車の状況>

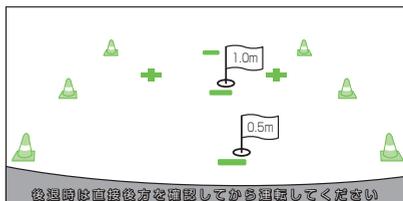


距離目安マークは、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安マークが表示されます。

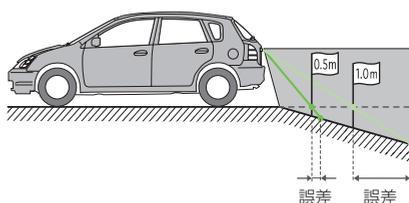
例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

### 急な下り坂が後方にあるとき(例)

#### <画面>



#### <車の状況>



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安マークが表示されます。

下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイドと実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

## リアカメラの画質調整について

リアカメラの映像は、DVD映像やワンセグ映像と同様に、画質を調整することができます。詳しくは、「画質を調整する」(→P192)を参照してください。

# 設定内容の初期化とユーザーデータの消去

お客様が購入後に設定した内容や記録したデータを消去して工場出荷時の状態に戻すことができます。

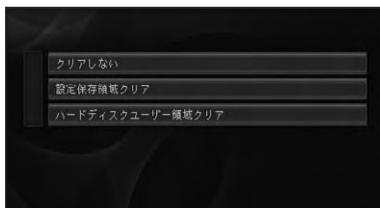
## 注意

- 一度消去したデータは復活できません。十分注意してから操作してください。
- 必要な情報は事前に控えておいてください。ミュージックラックに録音された音楽データについては著作権上バックアップを行うことはできませんので、ご注意ください。

## 1 オープニング画面が表示されている間、**NAVI** を押し続ける

クリア項目選択画面が表示されます。

## 2 **設定保存領域クリア** または **ハードディスクユーザー領域クリア** にタッチする



**はい** にタッチするとデータがクリアされます。

## **設定保存領域クリア** を選んだとき

- 機能設定
- 音量設定
- 車両設定
- VICS放送局/受信モード設定/受信周波数
- FM文字放送局/受信モード設定/受信周波数
- 高速施設通過情報
- 通信接続設定 (携帯電話/Bluetooth)
- 漢字変換学習度データ
- 現在ルートの誘導状況
- ロゴマーク表示設定
- お好み周辺設定
- 案内中のルート
- マップクリップサイズ
- 地図のビュー/スケール/ターゲットマップの設定
- ヒントポップアップ設定
- 自転車位置情報
- internavi 設定 (起動時案内設定)
- 取り付け時設定 (総走行距離設定)
- internaviVICS 設定
- 駐車場セレクト設定
- internavi ウェザー設定

## **ハードディスクユーザー領域クリア** を選んだとき

センサー学習以外の全ての設定とユーザーデータが消去されます。

## 注意

- ミュージックラックに録音された音楽データも全て消去されますのでご注意ください。

## アドバイス

- センサー学習を初期化するには、センサー学習のオールリセットを行ってください(→P102)。

はじめに

ナビゲーション  
基本操作

検索

ルート

登録  
編集  
操作

設定  
操作

VICS  
各種  
情報  
操作

通  
信

その  
他の  
操作

付  
録

場所の名前や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力します。ここでは、メニュー操作中に表示される、文字や数字の入力操作のしかたについて説明します。

## 🔊 アドバイス

- 英字、数字、カタカナ、ひらがな、漢字、記号が入力できます。
- 項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、登録地の「ヨミ」の場合、カタカナ入力以外は選べません。
- 本機は、文字入力変換システムに、株式会社ジャストシステムの「ATOK®」を使用しています。

## 文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

文字の種類を切り換える → 全角・半角を切り換える → 文字を入力する → 無変換、変換を行う → 文字入力を終了する

## 文字の種類を切り換える

### 1 入力切換 にタッチする



### 2 文字の種類にタッチする



文字の種類が切り換わります。

## 🔊 アドバイス

- 漢字変換入力をするには、**ひらがな**にタッチします。

## 全角・半角を切り換える

カタカナ、英字、数字、記号の場合は全角・半角を切り換えることができます。

### 1 全/半角 にタッチする

タッチすることにより、全角と半角が切り換わります。

## 文字を入力する

### ■ 基本操作

### 1 入力したい文字にタッチする



### ■ 文字を削除する

### 1 画面右上の◀・▶にタッチして、削除したい文字の右側にカーソルを移動させる

## 🔊 アドバイス

- ヨミや検索中の入力画面の場合は、◀・▶でカーソルを移動させることはできません。

### 2 削除 にタッチする

タッチすることにより、カーソルの左側の文字が1文字ずつ削除されます。カーソルが左端にある場合は、右端の文字が削除されます。必要な分だけ文字を削除して、入力をやり直します。

### 🔊 アドバイス

- 削除に長くタッチすると、全削除することができます。

## ■ スペースを空ける

### 1 **スペース**にタッチする



## ■ 文字を挿入する

### 1 画面右上の **◀・▶** にタッチして、文字を挿入したい場所の右側にカーソルを移動させる

カーソルの位置に文字を挿入することができます。

### 🔊 アドバイス

- カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。

## 無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字に変換します。

### 1 ひらがなを入力する場合は **無変換**、漢字に変換する場合は **変換** にタッチする

## 2 漢字に変換する場合は **次候補** と **前候補** で漢字を選んで、**確定** または **全確定** にタッチする



文字が入力されます。

### 🔊 アドバイス

- ◀ または ▶ にタッチすると、変換する文字の範囲を変更できます。

## ■ 漢字表から入力する

JIS第二水準の漢字の一覧表から漢字入力します。

### 1 漢字表に切り換える

→「文字の種類を切り換える」(P122)

### 2 漢字にタッチする



### 🔊 アドバイス

- 入力パレットの **◀** または **▶** にタッチすると、前のページまたは次のページが表示されます。

## 文字入力を終了する

### 1 **入力終了** にタッチする

はじめに

ナビゲーション  
基本操作

検索

ルート

登録編集操作

設定操作

各種情報操作  
VICS

通信

その他の操作

付録

## かな漢字変換できる記号

### 学術記号

読み	記号
いこーる	=
ごうどう	≡
だいなり	>
しょうなり	<
ばつ	×
ふとうごう	≠ < > ≦
	≧ ≪ ≫
ぶらす / たす	+
まいなす / ひく	-
ぶらすまいなす	±
むげん / むげんたい	∞
なぜならば	∴
ゆえに	∵
かける	×
わる	÷

### ギリシア文字

読み	記号
あるふあ / あるふあー	A α
いーた	H η
いおた	I ι
いぶしろん	E ε
うぶしろん	Y υ
おーむ / おめが	Ω ω
おみくろん	O o
かい / きー	X x
かっぱ	K κ
がんま / がんまー	Γ γ
くしー / ぐざい	Ξ ξ
しーた	Θ θ
じーた	Z ζ
しぐま	Σ σ
たう	T τ
でるた	Δ δ
にゅー	N ν
ばい / ぴー	Π π
ふあい / ふいー	Φ φ
ぶさい / ぶしー	Ψ ψ
べーた	B β
みゅー	M μ
らむだ	Λ λ
ろー	P ρ

### 括弧

読み	記号
かっこ	" " ' ' ( ) []
	□ ▢ ▣ ▤
	「 」 『 』 【 】

### 記号・マーク

読み	記号
くろぼし	★
くろまる	●
しろぼし	☆
しろまる	○
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	◇ ◆ □ ■
ずけい	☆ ★ ○ ●
	◎ ◇ ◆ □
	■ ▲ ▽ ▼
まる	○ ● ◎
にじゅうまる	◎
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
おす	♂
めす	♀
ゆうびん	〒

### 単位

読み	記号
えん	¥
おんぐすとろーむ	Å
せっし	℃
せんと	¢
たんい	° ' " °C
	¥ \$ € £
	%
ど	° °C
どる	\$
ばーせんと	%
ばーみる	‰
びょう	”
ふん	′
ぼんど	£

### 点

読み	記号
だくてん	°
てん	、 , ……
はんだくてん	°
まる	。 .

### 矢印

読み	記号
やじるし	→ ← ↑ ↓

### その他

読み	記号
あすたりすく / あすてりすく	*
あっとまーく	@
あんぱさんど	&
おんぶ	♪
から / ないし	~
こめ / ほし	※
しゃーぷ	#
しゃせん	/ \
せくしょん	§
だがー	†
だぶるだがー	‡
ふらっと	b

# オーディオ基本操作

オーディオの基本操作.....	126
基本操作 .....	126
リスト操作 .....	126
基本的なリストの操作 .....	126
サイドメニューの操作 .....	126
チェックリストの操作 .....	127
ソースの切り換えかた.....	128
ソースを切り換える .....	128
ソースをOFFにする .....	128
画面の切り換えかた.....	129
AVソース画面とナビ画面を切り換える .....	129
AVソース画面を切り換える .....	129
P side Map 画面を表示する .....	130

はじめに

オーディオ  
基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック  
ラック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

# オーディオの基本操作

オーディオの基本操作について説明します。

## 基本操作

本機は、画面上のタッチキー（マークや項目など）にタッチして操作します。

### 🔊 アドバイス

- 本書では、タッチキーでの操作を基本に説明していますが、一部操作を本体のボタンでも行うことができます。

## リスト操作

再生中などに表示されるリスト画面の操作について説明します。

### ■ 基本的なリストの操作



ページ送り 一画面ずつ移動します。	⏪ ⏩ にタッチする
タブ送り タブ付きリストでは選んだタブのリストに切り換わります。	タブ (例: <b>オーディオ設定</b> ) にタッチする

### ■ サイドメニューの操作



#### サイドメニュー

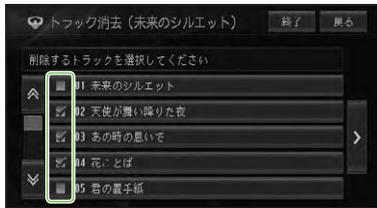
▶が表示されているときは、サイドメニューを表示できます。リストの全選択や全解除などの操作をすることができます。

▶ にタッチする

### 🔊 アドバイス

- サイドメニューを閉じるには、◀ にタッチします。

## ■チェックリストの操作



チェックリストでは、項目にタッチすると「✓」(チェックマーク)が表示され、選択中であることを示します。もう一度項目にタッチすると「✓」が消え、選択が解除されます。

またチェックリストでは、サイドメニューを表示できるものがあり、サイドメニューから、**全選択**、**全解除**を操作することもできます。

はじめに

オーディオ  
基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック  
ラック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

# ソースの切り換えかた

CD、ミュージックラック、DVDなどの音源や映像のことをソースと呼びます。

## 🔊 アドバイス

- ナビゲーション画面のときにソースを切り換えると音声のみ切り換わります。**(AUDIO)**を押すとAVソース画面に切り換えることができます。
- 接続していないソースや、再生の準備ができていないソースには切り換わりません。

## ソースを切り換える

ソースの切り換えは、ソース選択画面から行います。

### 1 **(SOURCE)**を押すか、AVソース画面でソース名にタッチする

ソース名



## 🔊 アドバイス

- 目的地メニュー (→P16) で**AVソース**にタッチして、ソース選択画面を表示させることもできます。

### 2 お好みのソースにタッチする



▼  
選んだソースに切り換わります。

## ソースをOFFにする

### 1 **(OFF)**を押す

ソースがOFFになります。

もう一度**(OFF)**を押すと、OFFにする前のソースに戻ります。

## 🔊 アドバイス

- ソース選択画面で**OFF**にタッチしても、ソースをOFFにすることができます。
- フロント/コーナーカメラが接続されている場合は、**(OFF)**を2秒以上押してください。

# 画面の切り換えかた

AVソース画面の切り換えかたについて説明します。

## AVソース画面とナビ画面を切り換える

AVソース画面のときに**現在地**を押すとナビゲーション画面に、ナビゲーション画面のときに**AUDIO**を押すとAVソース画面に切り換わります。

### ナビゲーション画面



### AVソース画面



## AVソース画面を切り換える

AVソース画面の表示方法（通常リスト画面または情報表示画面）を切り換えることができます。

通常リスト画面で**ビュー**にタッチすると情報表示画面に、情報表示画面で**リスト**にタッチするとリスト画面に切り換わります。

### 通常リスト画面



### 情報表示画面



### 🔊 アドバイス

- ワンセグ、DVD、DivX、VTR のときは、映像画面に切り換わります。画面にタッチすると操作タッチキーや通常リスト画面が表示されます。

はじめに

オーディオ  
基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック  
ラック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

## P side Map画面を表示する

P side Map 画面とは、左側にAVソース画面、右側にナビゲーション画面（走行画面）を表示する画面です。

AVソース画面のときに **AUDIO** を押すと、P side Map 画面に切り換わります。もう一度 **AUDIO** を押すと、AVソース画面に戻ります。

### AVソース画面



### P side Map画面



### アドバイス

- P side Map画面では、左側（AVソース画面）にタッチするとAVソース画面に、右側（走行画面）にタッチすると走行画面に戻ります。
- P side Map画面のときは、交差点案内表示やビーコン割り込み表示はされません。

# 放送受信

<b>FM・AM放送を聞く</b> .....	<b>132</b>
ラジオの放送を受信する .....	132
プリセットの種類を選ぶ .....	132
放送局の手動記憶 .....	132
バンドを切り換える .....	133
いろいろなラジオ操作のしかた .....	133
放送局の自動記憶 .....	133
<b>交通情報を聞く</b> .....	<b>134</b>
交通情報を受信する .....	134
<b>ワンセグ放送を見る</b> .....	<b>135</b>
ワンセグ放送について .....	135
ワンセグ放送を見る .....	136
アイコン(画面に表示されるマーク)一覧 .....	136
操作タッチキーの操作のしかた .....	136
ワンセグの操作 .....	137
プリセットの種類を切り換える .....	137
放送局の手動記憶 .....	137
番組情報を表示する .....	138
バンドを切り換える .....	138
放送局の自動記憶(チャンネルスキャン) .....	138
お知らせメッセージを表示する .....	138
サービスリストから放送局を選ぶ .....	139
字幕を切り換える .....	139
音声を切り換える .....	139
リストを簡易表示に切り換える .....	139
1つ前の放送に戻る .....	139

はじめに

オーディオ  
基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック  
ラック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

# FM・AM 放送を聞く

ラジオの受信のしかたを説明します。

## ラジオの放送を受信する

### 1 ソースをFMまたはAMにする (→P128)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

#### 🔊 アドバイス

- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースをラジオにした場合は、音声のみ切り換わりません。**[AUDIO]**を押すとAVソース画面に切り換わります。(→P129)
- 受信をやめるには、ソースをOFFにします。(→P128)

### 2 リストにタッチして、受信したい放送局にタッチする



操作ボタンで操作する場合：

	プリセットチャンネルを順に送る
	受信できる放送局を自動的に探す (SEEK)

#### 🔊 アドバイス

- 放送局がリスト表示されていても、現在地の環境や電波状況によっては、受信できない場合があります。
- トンネル内や山かげ、ビルの谷間など、電波がささげられやすい場所、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。
- ステレオ放送を受信した場合は **[STEREO]** が表示されます。

## プリセットの種類を選ぶ

ユーザーが記憶させた放送局 (ユーザープリセット) を呼び出すか、ハードディスクに記憶されている自車位置付近の放送局 (エリアプリセット) を呼び出すかを選びます。

### 1 ユーザープリセットまたはエリアプリセットにタッチする



#### 🔊 アドバイス

- エリアプリセットでは、放送局の周波数変更が行なわれた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

## 放送局の手動記憶

ユーザープリセットメモリー (→前記) に、FM1 と FM2、AM1、AM2 に各6局まで、手動で記憶させることができます (マニュアルプリセット)。

### 1 ユーザープリセットにタッチする

### 2 ◀周波数/周波数▶にタッチして記憶させたい周波数を選ぶ

**3 リストにタッチする****4 記憶させたいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする**

現在受信中の周波数が、選んだプリセットに記憶されます。

**バンドを切り換える**

本機ではソースごとに2つのバンドがあり、それぞれのバンドごとにメモリーを使い分けることができます。

**1 バンドにタッチする**

タッチすることにより、以下のように切り換わります。

FM1 ↔ FM2  
AM1 ↔ AM2

**いろいろなラジオ操作のしかた****放送局の自動記憶**

受信状態の良い放送局をユーザープリセットメモリーに自動的に記憶させることができます。

**1 BSMに2秒以上タッチする**

**中止**にタッチすると、自動記憶を中止します。

自動記憶が完了すると、ユーザープリセットに放送局が記憶されます。

**アドバイス**

- 受信状態の良い放送局が記憶可能数より少ない場合は、前の記憶が残る場合があります。

はじめに

オーディオ  
基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック  
ラジック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

# 交通情報を聞く

幹線道路などで放送されている交通情報の受信のしかたを説明します。

## 交通情報を受信する

### 1 ソースを交通情報にする (→ P128)



交通情報画面が表示され、前回聞いた周波数の交通情報を受信します。

1620kHz	1620kHz にするとき
1629kHz	1629kHz にするとき
交通情報 OFF	交通情報の受信をやめて直前の状態に戻る

操作ボタンで操作する場合：

を押す | 周波数を切り換えます。

### 🔊 アドバイス

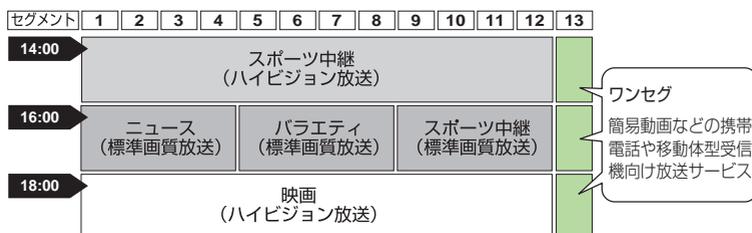
- 交通情報を受信しているときに、音量を調整すると、交通情報用の音量として設定することができます。別のソースに切り換えて音量を調整しても、次に交通情報を受信するときは、前回設定した音量で聞くことができます。

# ワンセグ放送を見る

ワンセグの基本的な操作のしかたを説明します。

## ワンセグ放送について

地上デジタル放送は、ゴーストのない鮮明な映像や高品質な音声を車で移動しながら楽しむことができます。「ワンセグ」は、地上デジタル放送のサービスの1つです。



地上デジタル放送では、1つのチャンネルが13の「セグメント」に分割されており、これらのセグメントのいくつかを束ねて映像やデータ、音声などを送信しています。通常の地上デジタル放送では12セグメントが、ワンセグでは1セグメントが割り当てられています。

### 1 SEG

ワンセグは、13セグメントの1つを使って行われる、おもに携帯電話や移動体受信機のような小さな画面(QVGA:320×240画素または320×180画素)に向けた、簡易動画や音声などの地上デジタル放送です。ワンセグは、12セグメントを使った通常の地上デジタル放送では受信状態が不安定なエリアでも安定受信が可能のため、より広いエリアで放送が楽しめます。

#### 🔊 アドバイス

- ワンセグなど、地上デジタル放送の詳細については下記をご覧ください。  
社団法人 地上デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>

#### 🔊 注意

- 停車中またはパーキングブレーキがかかっているときに、モニターで映像を見ることができます。走行中は安全のためにモニターには、映像は表示されません。

はじめに

オーディオ  
基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック  
ラジック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

## ワンセグ放送を見る

### 1 ソースをワンセグにする(→P128)

AVソース画面が表示され、前回受信していた放送局を受信します。

### 2 画面にタッチして操作タッチキーを表示する

### 3 放送局にタッチする



操作ボタンで操作する場合：

を押す	プリセットチャンネルを順に送る
を長く押す	物理チャンネルを自動的に探す (SEEK)

### 🔊 アドバイス

- 何も操作をしないと、操作タッチキーは約8秒で消えます。もう一度操作タッチキーを表示したいときは、画面にタッチします。
- 映像がナビゲーション画面のときに、ソースをワンセグに切り換えた場合は、音声のみ切り換わります。**AUDIO**を押すとAVソース画面に切り換わります。(→P129)
- 受信をやめるには、ソースをOFFにします。(→P128)
- ワンセグの音量を調整すると、ワンセグ専用の音量として設定することができます。そのため他のソースに切り換えて音量を調整しても、次にワンセグに切り換えたときには、前回設定した音量で聞くことができます。また、ワンセグソースから他のソースへ切り換えたときに、音量が大きく違うことがあります。

- ワンセグの音声は放送局側の出力レベルにより低い場合があります。そのため他のソースからワンセグに切り換えると、音が小さく感じられる場合があります。その場合は、ソースレベルアジャスターでソースごとの音量の違いをそろえることができます。(→P187)
- エリアプリセット(→P137)のリストを表示中に選局中の放送局名にもう一度タッチすると「受信可能な物理チャンネルを自動的に探します。」と表示し、選んだ放送局の系列局を自動的に探します。受信可能な系列局が見つかった場合は、放送局名を切り換えて表示します。

### ■ アイコン(画面に表示されるマーク) 一覧

	ステレオ放送
	受信状態
	未読のお知らせメッセージあり

### 🔊 アドバイス

- 受信状態は、8段階で表示されます。
- 上記のアイコンは、実際に画面に表示されるアイコンと異なる場合があります。
- 切り換えできる音声や字幕、複数の番組は放送によって異なります。

### ■ 操作タッチキーの操作のしかた

ワンセグの操作タッチキーは2ページあります。操作タッチキーに表示される**次ページ**、**前ページ**にタッチして表示を切り換えます。

### 1 ワンセグ放送受信中に、画面にタッチする

### 🔊 アドバイス

- ビュー**にタッチすると操作タッチキーは消えます。

## 操作タッチキー 1 (1ページ目)



<b>エリアプリセット</b>	プリセットの種類 (→後記) または ユーザープリセット を切り換えます。
<b>ユーザープリセット</b>	
<b>チャンネル/チャンネル▶</b>	3桁チャンネルを順に送ります。長くタッチすると、物理チャンネルを自動的に探し、放送を受信すると止まります。(SEEK)
<b>全画面</b>	番組情報を解除して視聴画面に戻ります。
<b>番組情報</b>	番組情報を表示します。
<b>バンド</b>	バンド (ワンセグ1 ↔ ワンセグ2) を切り換えます。(→P138)
<b>リスト</b>	リストの簡易表示と通常表示を切り換えます。(→P139)

## 操作タッチキー 2 (2ページ目)



<b>サービスリスト</b>	サービスリストを表示します。(→P139)
<b>スキャン</b>	2秒以上タッチすると、受信状態の良い放送局を自動的に記憶します。(→P138)
<b>お知らせメッセージ</b>	お知らせメッセージ画面を表示します。(→P138)

<b>音声切換</b>	番組に複数の音声があるときや、デュアルモノ放送 (2カ国語、2重音声) のときに、音声を切り換えることができます。(→P139)
<b>字幕切換</b>	番組に複数の字幕があるときに、字幕を切り換えます。(→P139)
<b>前選局</b>	一つ前に視聴したサービスに切り換えます。(→P139)

## ワンセグの操作

## ■プリセットの種類を切り換える

お好みで記憶した放送局 (ユーザープリセット) を呼び出するか、ハードディスクに記憶されている自車位置付近の放送局 (エリアプリセット) を呼び出すかを選びます。

## 1 エリアプリセット または ユーザープリセット にタッチする



## ① アドバイス

- エリアプリセットのリストには、実際のワンセグ放送を行っていない放送局も表示される場合があります。そのような放送局は、タッチしても受信できません。
- 放送エリアの境付近では、受信感度によって、別のエリアの放送局を受信する場合があります。また、場所によってはエリアプリセットで設定された放送局以外にも受信可能な放送局がある場合があります。

## ■放送局の手動記憶

ユーザープリセットメモリにバンドごとに12局まで記憶させることができます (マニュアルプリセット)。

つづく→

はじめに

オーディオ  
基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック  
ラック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

1 ユーザープリセット にタッチする

2 操作タッチキー1の ◀チャンネル、チャンネル▶ にタッチして記憶させたい放送局を選ぶ

3 記憶させたいリストのプリセットの枠に2秒以上タッチする



現在受信中の放送局が、選んだリストに記憶されます。

■ 番組情報を表示する

番組表などの情報を表示します。

1 操作タッチキー1 (→P137) の 番組情報 にタッチする

番組情報を解除する場合は、操作タッチキー1 (→P137) を表示して、**全画面**にタッチしてください。

■ バンドを切り換える

1 操作タッチキー1 (→P137) の **バンド** にタッチする

タッチするごとに、ワンセグ1(バンド1) ↔ ワンセグ2 (バンド2) が切り換わります。

■ 放送局の自動記憶 (チャンネルスキャン)

バンドごとに受信可能な放送局をユーザープリセットに自動的に記憶させることができます。

1 ユーザープリセット にタッチする

2 操作タッチキー2 (→P137) の **スキャン** に2秒以上タッチする



**中止**にタッチすると、スキャンを中止します。

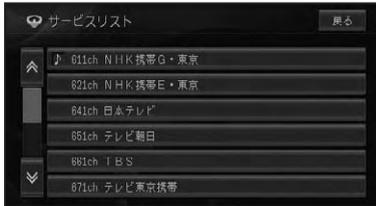
■ お知らせメッセージを表示する

1 操作タッチキー2 (→P137) の **お知らせメッセージ** にタッチする

取得済みのお知らせメッセージが表示されます。

## ■ サービスリストから放送局を選ぶ

- 1 操作タッチキー 2 (→P137) の **サービスリスト** にタッチする
- 2 受信したいサービスチャンネルにタッチする



## ■ リストを簡易表示に切り換える

表示させるリストを簡易表示に切り換えます。

- 1 操作タッチキー 1 (→P137) の **リスト** にタッチする



簡易表示中に **リスト** にタッチすると通常のリスト表示に切り換わります。

## ■ 字幕を切り換える

番組に字幕があるときに、字幕の言語と表示のON/OFFを切り換えることができます。

- 1 操作タッチキー 2 (→P137) の **字幕切換** にタッチする

タッチすることにより、次のように切り換わります。

第1言語 → 第2言語 → 字幕OFF

## ■ 音声を切り換える

- 1 操作タッチキー 2 (→P137) の **音声切換** にタッチする

タッチすることにより、次のように切り換わります。

複数の音声がある場合：

第1音声 → 第2音声 → 第1音声 に戻る

2カ国語放送(2重音声)の場合：

主音声 → 副音声 → 主音声 + 副音声 → 主音声 に戻る

## 🔊 アドバイス

- ・ 音声有料の場合は、本機では再生できません。

はじめに

オーディオ  
基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック  
ラック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録



# 音楽ディスク

音楽ディスクの再生.....	142
再生する .....	142
再生画面について .....	142
詳細情報を表示する (MP3) .....	144
いろいろな再生操作のしかた .....	144
リPEAT再生 .....	144
ランダム再生 .....	145
スキャン再生 .....	145
再生メディアの切り換え .....	146

はじめに

オーディオ  
基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージック  
ラック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

# 音楽ディスクの再生

CD、ROM(WMA/MP3/AAC)の基本的な再生のしかたを説明します。

## 再生する

### 🔊 アドバイス

- 再生できるディスクについては「再生できるディスクの種類」(→P198)を参照してください。

### 1 ディスクを挿入する(→『クイックガイド』)

自動的に再生が始まります。

### 🔊 アドバイス

- すでに再生したいディスクが挿入されている場合は、ソースを切り換えてください。(→P128)
- ディスクの判別などを行うため、再生までに時間がかかります。
- 再生を中止するには、ソースをOFFにします。(→P128)

### 2 リストにタッチする



### 3 聴きたい曲にタッチする



### 🔊 アドバイス

- 何も操作をしないと、リスト画面は約8秒で消えます。

操作ボタンで操作する場合：

CD	
◀▶ PCH ▶▶	トラック操作
◀▶ PCH ▶▶ (長押し)	早戻し / 早送り
ROM (WMA/MP3/AAC)	
◀▶ PCH ▶▶	トラック操作
◀▶ PCH ▶▶ (長押し)	早戻し / 早送り

## 再生画面について

### CD (通常再生中)

再生中の曲

再生中のトラックの経過時間  
トラック No.



ディスクタイトル  
アーティスト名

◀▶	トラック操作
◀▶ (タッチし続ける)	早戻し / 早送り
▶	一時停止 / 再生
■	停止
🔊 録音	ミュージックラックへの 手動録音
メディア切替	データ形式が混在している ディスク再生時のWMA/ MP3/AAC、DivX への切替

## CD → REC (録音中)

再生中の曲 録音表示

録音プログレスバー 録音済み曲数

録音モード表示

録音停止	ミュージックラックへの録音停止
------	-----------------

## 🔊 アドバイス

- 録音していないCDを再生すると、自動的にミュージックラックへの録音が始まります。全ての曲の録音が終わると通常再生に切り替わります。録音モード(→P167)を「マニュアル」に設定している場合は、録音したい曲を選んで、手動で録音することができます。
- 全ての曲の録音が完了するまで、選曲操作や特殊再生(ランダム再生など)はできません。選曲操作が必要な場合は、**録音停止**にタッチして録音を中止してください。録音を再開するときは、**録音**にタッチします。
- 内蔵のGracenote® 音楽認識サービス(CDDDB)から情報が取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- CD TEXTから情報が取得できた場合は、CD TEXTの情報が優先して表示されます。
- ミュージックラックへの録音およびタイトル表示については「ミュージックラックに録音する」(→P165)を参照してください。

## ROM (WMA/MP3/AAC)

トラックタイトル 再生中のトラックの経過時間

トラック No.

フォルダータイトル ビットレート

アーティスト名

	トラック操作
	早戻し / 早送り
(タッチし続ける)	
	一時停止 / 再生
	停止
<b>メディア切替</b>	データ形式が混在しているディスク再生時のCD、DivXへの切替
	1つ上のフォルダーの1曲目を再生または情報の表示
<b>詳細</b>	詳細情報の表示

## 🔊 アドバイス

- WMA/MP3/AACはID3タグ/WMAタグ/AACタグ(→P201)からタイトル情報を取得できた場合は、タイトルやアーティスト名が表示されます。
- フォルダータイトル、トラックタイトル、アーティスト名は半角32文字まで表示できます。
- MP3は、タイトル情報を取得できなかった場合、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとして表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMA/AACは、フォルダー名がフォルダータイトル、ファイル名がトラックタイトルとして表示されます。アーティスト名は表示されません。
- WMAの時にタグのAuthor情報があつた場合、アーティスト名として表示します。
- フォルダーの項目にタッチすると、選んだフォルダー内の情報を表示します。
- にタッチすると、上位階層のフォルダー内の情報を表示します。

つづく→

はじめに

オーディオ基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックラック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

- 音楽データ (CD) と WMA/MP3/AAC 形式のデータが混在したディスクを挿入した場合、最初に音楽データ (CD) が再生されます。WMA/MP3/AAC ファイルを再生するには **メディア切替** にタッチします。

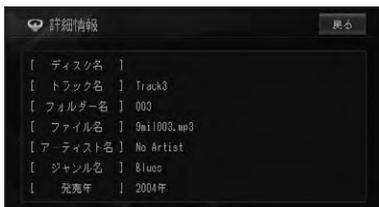
## ■ 詳細情報を表示する (MP3)

MP3 では現在再生中の曲の詳細情報を見ることができます。

### 1 リスト にタッチする

### 2 詳細情報を表示したい曲にタッチする

### 3 詳細 にタッチする



ID3 Tag の情報がある場合には、現在再生中の曲の詳細情報 (ディスク名、トラック名、フォルダー名、ファイル名、アーティスト名、ジャンル名、発売年) が表示されます。

**戻る** にタッチすると元の画面に戻ります。

## いろいろな再生操作のしかた

### 🔊 アドバイス

- CD 録音中は、**リピート**、**ランダム**、**スキャン**、**メディア切替** は操作できません。

## ■ リピート再生

指定した範囲を繰り返して再生できます。

### 1 リピート にタッチする



タッチすることにより、リピートの範囲が以下のように切り換わります。

**CD**  
DISC REPEAT ↔ TRACK REPEAT

**ROM (WMA/MP3/AAC)**  
DISC REPEAT → TRACK REPEAT  
→ FOLDER REPEAT → 元に戻る

DISC REPEAT	通常の再生状態です。再生中のディスクを繰り返します。
TRACK REPEAT	再生中のトラック (曲) を繰り返します。
FOLDER REPEAT	再生中のフォルダーを繰り返します (WMA/MP3/AAC のみ)。

### 🔊 アドバイス

- リピート再生中にリピートの範囲を超える操作 (TRACK REPEAT 中の選曲操作など) を行うと、リピートの範囲が変更される場合があります。
- 通常再生である DISC REPEAT は、画面に表示されません。

## ■ ランダム再生

選んだリピートの範囲内で、曲順を変えて再生することができます。

### 1 ランダムにタッチする



タッチすることにより、ランダム再生のON/OFFが切り換わります。

#### 🔊 アドバイス

- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、ランダム再生をONにすると、リピートの範囲はそれぞれ以下のように自動的に切り換わります。

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT

- ランダム再生中にその他の再生操作（リピート再生、スキャン再生など）やリピートの範囲を超える操作（フォルダーの切り換えなど）を行うと、ランダム再生が中止される場合があります。

## ■ スキャン再生

選んだリピートの範囲内で、ディスク内の各曲の演奏開始部分や、各フォルダー内の1曲目の演奏開始部分を、約10秒間ずつ聴くことができます。聴きたい曲やフォルダーを探すときに使います。

### 1 リピート範囲を以下のように指定する

#### 聴きたい曲を探すとき

再生中のディスク(CD)、フォルダー(WMA/MP3/AAC)内の各曲の演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。

リピートの範囲を以下のように指定します。

CD	DISC REPEAT
WMA/MP3/AAC	FOLDER REPEAT

#### 🔊 アドバイス

- リピートの範囲がTRACK REPEATの場合、スキャン再生をONにすると、リピートの範囲はそれぞれ上記のリピート範囲に切り換わります。

#### 聴きたいフォルダーを探すとき(WMA/MP3/AAC)

ディスク内の全フォルダーの1曲目だけの演奏開始部分を、約10秒間ずつ再生します。リピートの範囲をDISC REPEATに指定します。

### 2 スキャンにタッチする



タッチすることにより、スキャン再生のON/OFFが切り換わります。

#### 🔊 アドバイス

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

### 3 聴きたい曲またはフォルダーが再生されたら、もう一度スキャンにタッチする

スキャン再生がOFFになり、選んだ曲またはフォルダーが再生されます。

#### 🔊 アドバイス

- スキャン再生中にその他の再生（リピート再生、ランダム再生など）やリピートの範囲を超える操作（フォルダーの切り換えなど）を行うと、スキャン再生が中止される場合があります。

はじめに

オーディオ基本操作

放送受信

音楽ディスク

映像ディスク

ミュージックライクック

その他の機器

AV初期設定

その他の機能

付録

## ■再生メディアの切り換え

音楽データ(CD)とWMA/MP3/AACデータ(ROM)とDivXのデータ、またはいずれかのデータの組み合わせで混在しているディスクの場合に形式を切り換えます。

### 1 **メディア切替** にタッチする



再生するデータ形式が切り換わります。

#### **アドバイス**

- 音楽データ側に記録された文字情報は表示されません。